

せんたくいた たらいと洗濯板

【たらい】

うすく切った板を縦に並べあわせ底をつけて、たがで全体を締めて水がもれないようにした容器。

【洗濯板】

表面にみぞが刻まれた木製の板。



【たが】

桶や樽の外側を締める、竹や金属などで作った輪のこと。

電気洗濯機がなかったころの洗濯は、たらいや洗濯板などを使い、全部、人の手で洗って
いました。たらいには、洗濯物を洗ったりすすいだりするための水や湯を入れ、洗濯板のギ
ザギザのきざみが入ったところで洗濯物をこすって、汚れを落としました。
石けんがまだない時代には米のとぎ汁などが使われていました。

～道具とことば～

●雪の明日は裸虫の洗濯

雪の翌日は洗濯に適する。雪の降った翌日は晴天になって暖かい日が多いことをいう。

●たらいまわし

人や物、また権利・地位などをある限られた範囲内で順送りにすること。

●たががゆるむ

緊張がゆるんで、しっかりしたところがなくなること。

